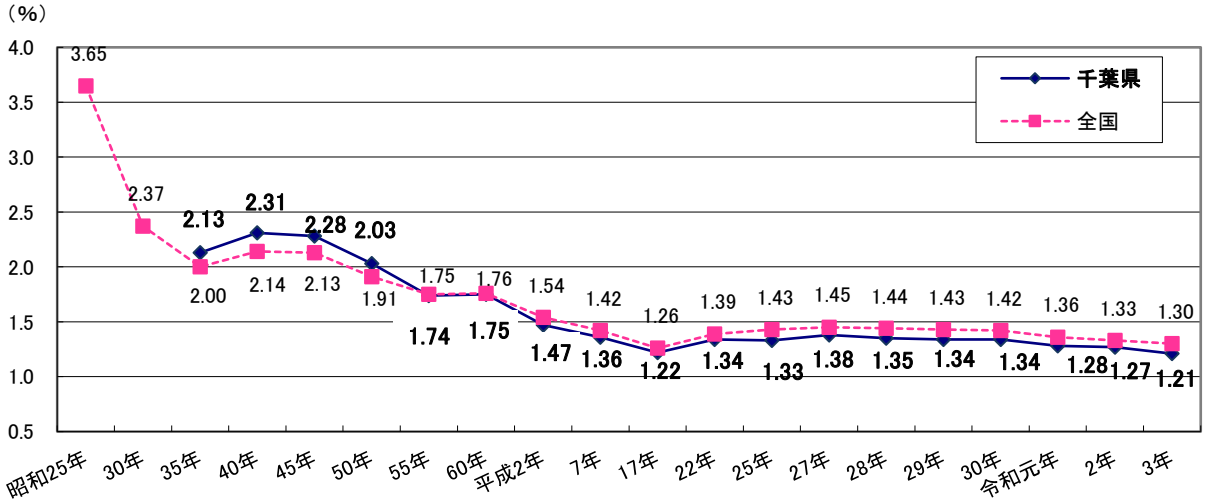
Ⅶ 健康

1　出産等に関する状況

（1）合計特殊出生率の推移

「人口動態統計」によると、千葉県における合計特殊出生率(一人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当)は、平成22年以降はほぼ横ばいで推移していますが、令和３年は1.21と、前年より減少しました。

図表97　合計特殊出生率の推移（千葉県・全国）

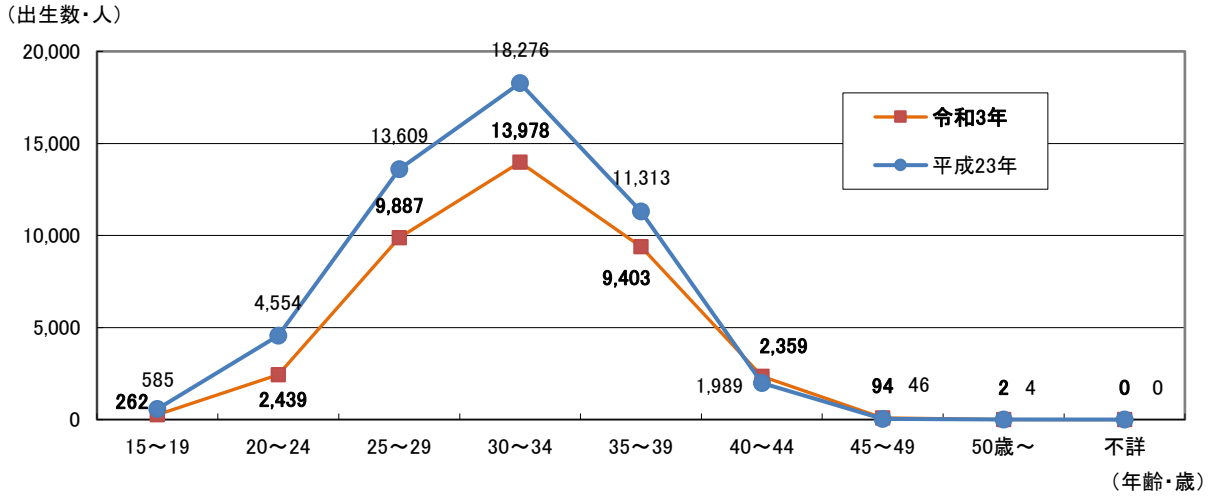


資料出典：厚生労働省「人口動態統計」（令和3年）

（2）母の年齢階級別出生数の推移

母親の出産年齢と出生数について10年前と比較したところ、平成23年、令和3年とも30歳から34歳の階級が最も多くなっています。令和3年は15歳～39歳の各階級で減少している一方、40歳から49歳の各階級で増加しています。

図表98　母の年齢階級別出生数の推移 （千葉県）



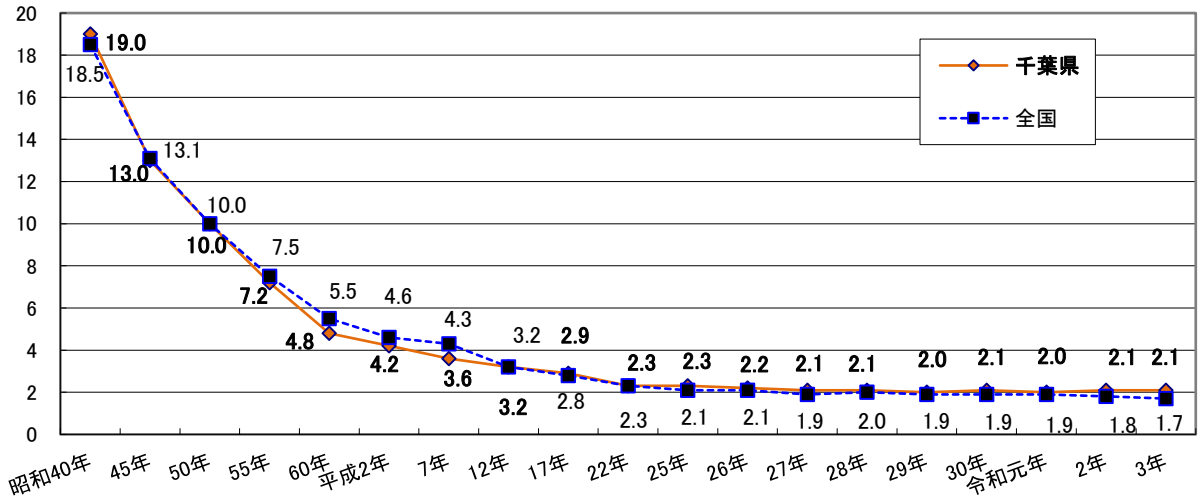
資料出典：厚生労働省「人口動態統計」（令和3年）

（３）乳児・新生児死亡率の推移

「人口動態統計」によると、千葉県の乳児死亡率と新生児死亡率は、昭和50年頃までともに急速に低下しましたが、近年では、乳児死亡率は2.0～2.3、新生児死亡率は0.8～1.1と横ばいで推移しています。

図表99　乳児死亡率* の推移（千葉県・全国）

（出生千対）

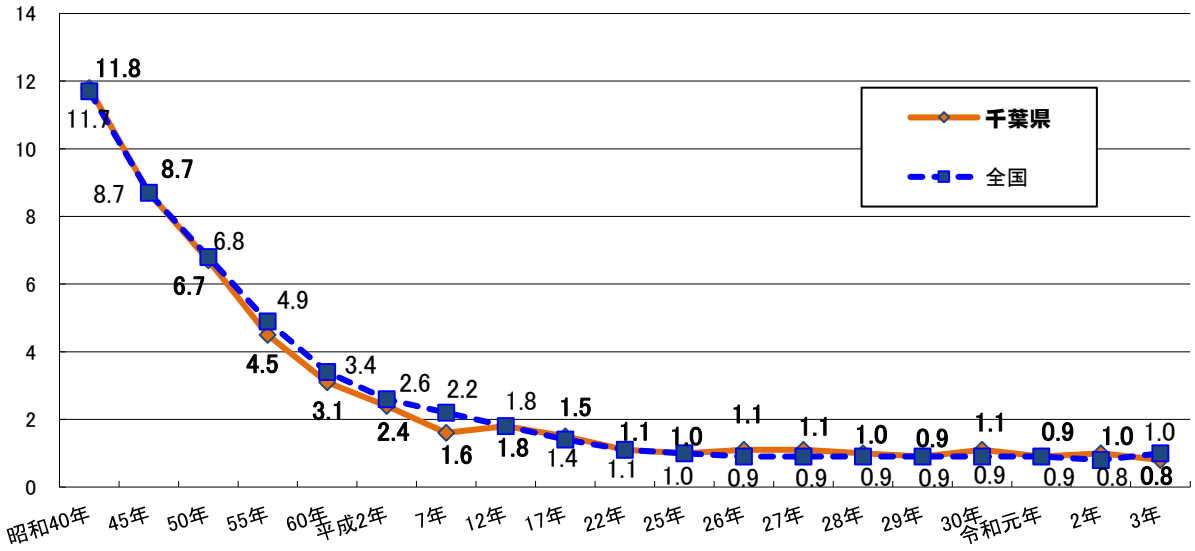


＊乳児死亡：生後１年未満の死亡

資料出典：厚生労働省「人口動態統計」（令和3年）

図表100　新生児死亡率*の推移（千葉県・全国）

（出生千対）



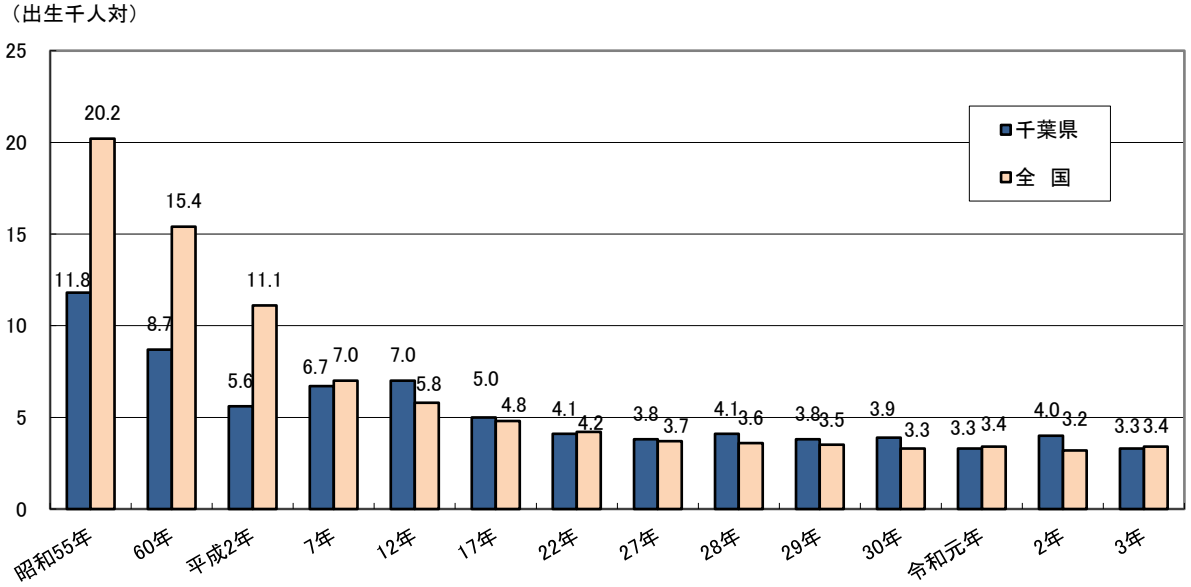
＊新生児死亡：生後４週間未満の死亡

資料出典：厚生労働省「人口動態統計」（令和3年）

（４）　周産期死亡率の推移

令和3年の「人口動態統計」によると、千葉県の周産期死亡率は3.3であり、ここ数年はほぼ横ばいです。

図表101　周産期死亡率*の推移（千葉県・全国）



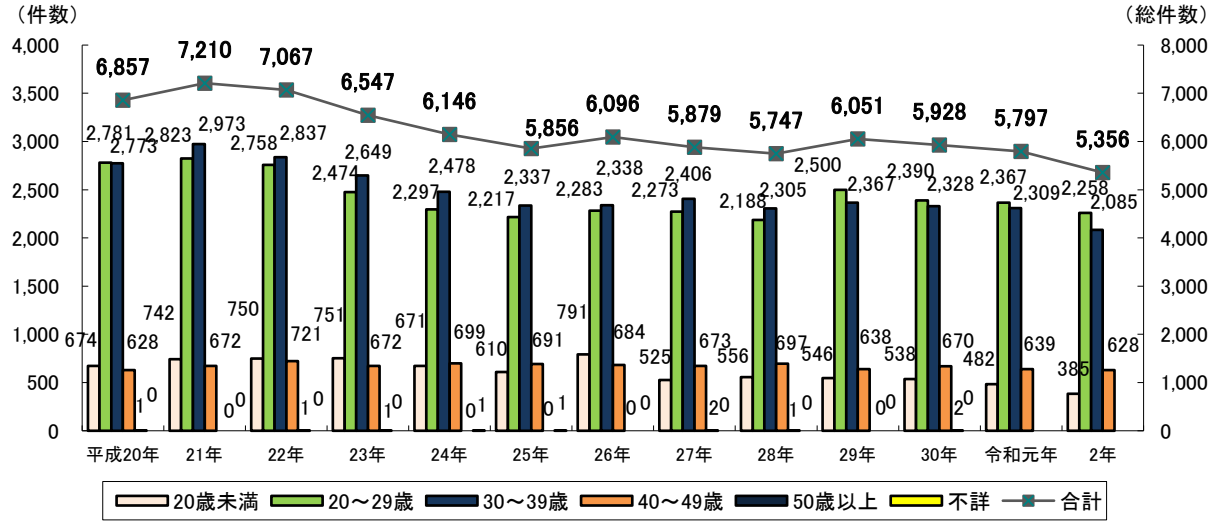
＊周産期死亡率：【年間周産期死亡数】÷【年間出産数(出生数＋妊娠満22週以降の死産数)】×1,000
出産1000に対する周産期死亡（妊娠22週以後の死産数に早期新生児死亡を加えたもの）の割合で、国又は地方の産科医療の水準を表す指標の一つとされている。

資料出典：厚生労働省「人口動態統計」（令和3年）

（５）人工妊娠中絶の状況

「衛生行政報告例」により、千葉県における年齢階級別人工妊娠中絶の状況をみると、平成21年から減少し、平成25年からはほぼ横ばいで推移しています。

図表102　年齢階級別人工妊娠中絶の状況（千葉県）



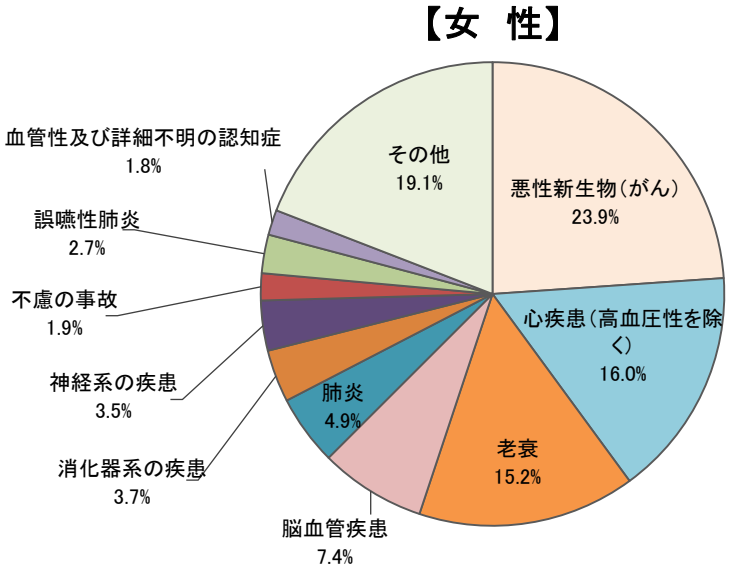
資料出典：厚生労働省「衛生行政報告例」

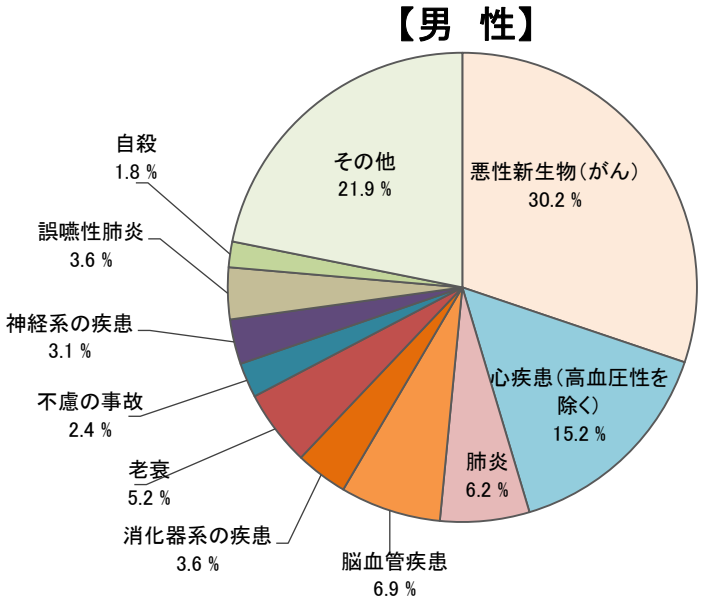
2　こころとからだの健康

（1）主な死因の構成割合

令和３年の男女別の死因をみると、男女ともに「悪性新生物（がん）」「心疾患」による死亡が多くなっており、特に男性でその割合が高くなっています。

図表103　男女別主要死因の構成割合(千葉県)





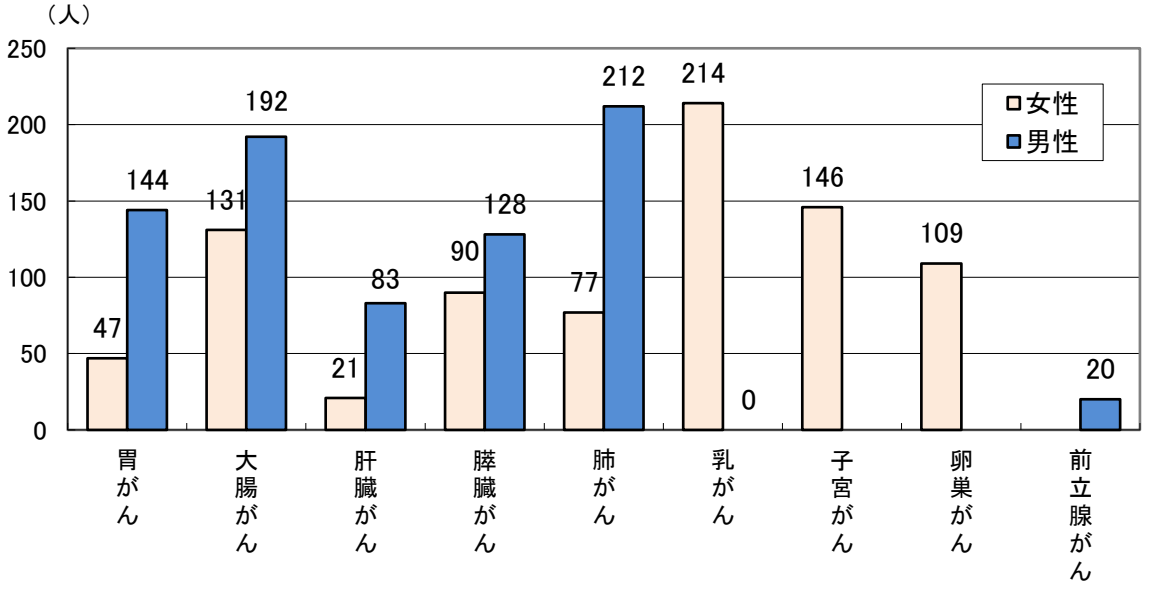
資料出典：厚生労働省「人口動態統計」(令和3年)

（２）各がんの早世死亡数等

がんについて、令和３年の早世死亡の件数（65歳未満の死亡数）と早世係数（あるがんの全死亡に占める早世の比率）を男女で比較すると、女性は、乳がんが件数において最も多く、子宮がん、卵巣がんとともに女性特有のがんの早世係数が他のがんと比較して、高くなっています。

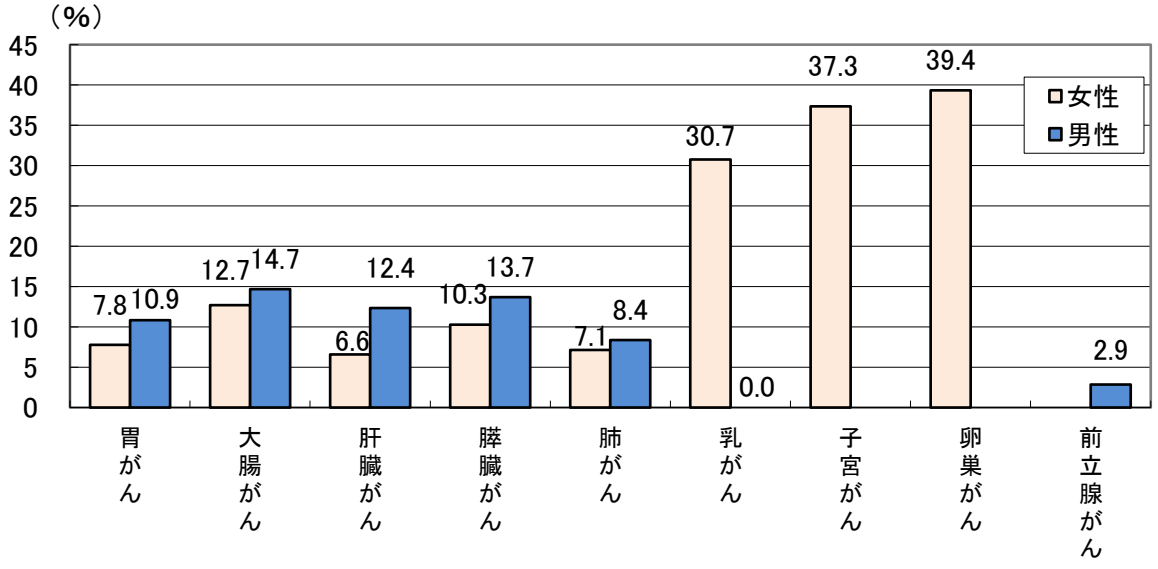
一方、男性では、胃がん、大腸がん、肝臓がん、膵臓がん、肺がんが件数及び早世係数のいずれにおいても女性を上回っています。

図表104　各がんの早世死亡件数（65歳未満）の男女比較（千葉県）



資料出典：厚生労働省「令和３年(2021)人口動態統計（確定数）」（令和４年9月16日）

図表105　各がんの早世係数の男女比較（千葉県）

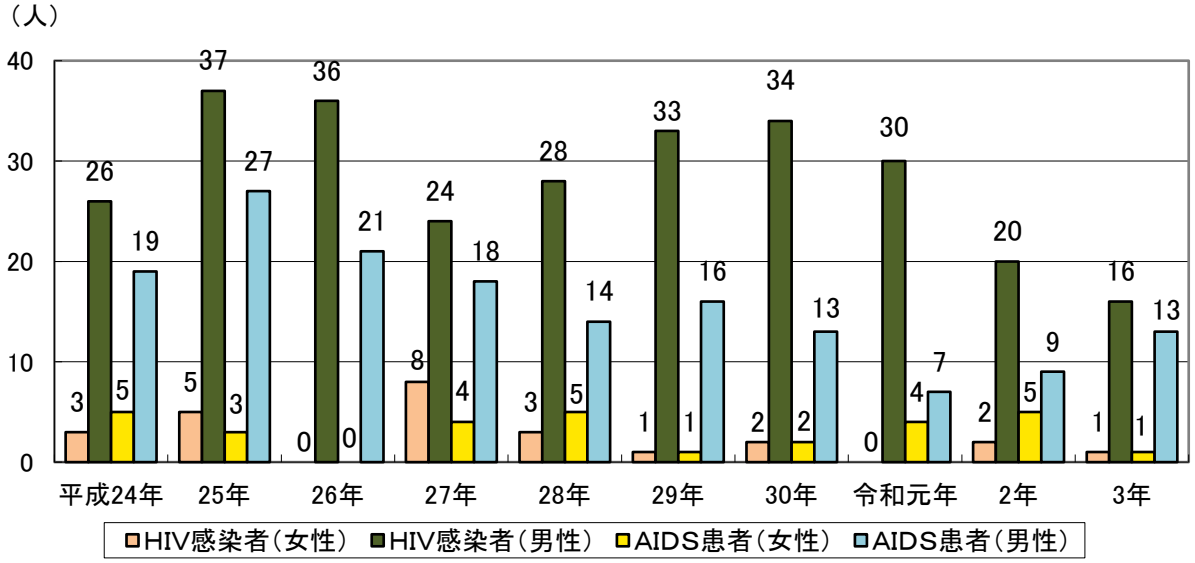


資料出典：厚生労働省「令和３年(2021)人口動態統計（確定数）」（令和４年9月16日）

（３）ＨＩＶ感染者・ＡＩＤＳ患者の数

ＨＩＶ感染者･ＡＩＤＳ患者の新規届出の90%以上を男性が占めています。

図106　男女別HIV感染者・AIDS患者届出状況（千葉県）

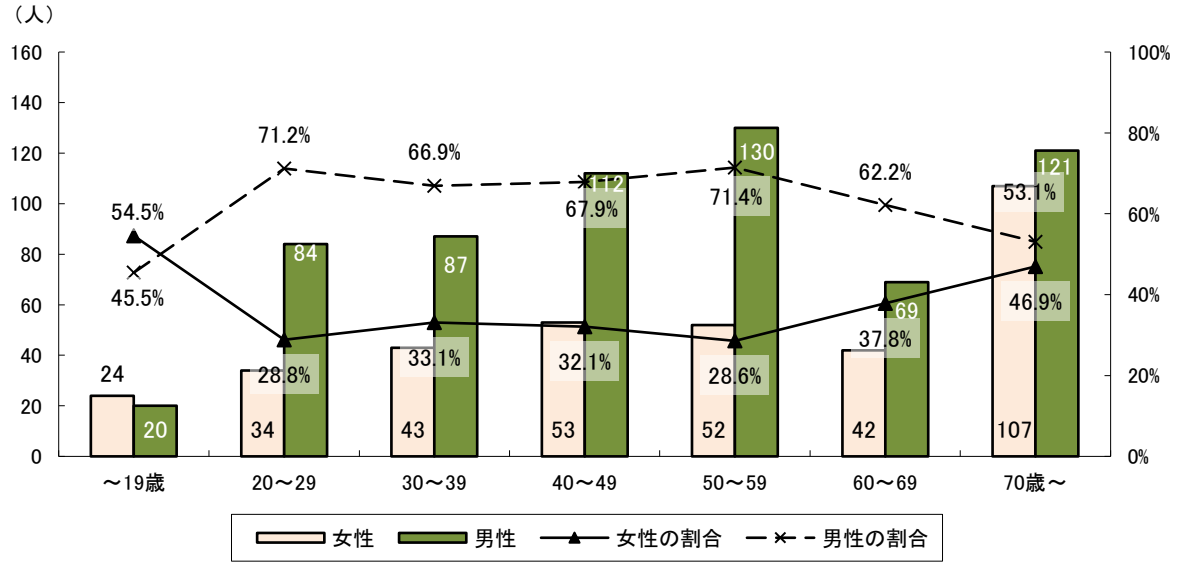


資料出典：千葉県疾病対策課

（４）自殺者の年齢階級別推移

自殺者総数に占める男女別・年齢階級別の割合を見ると、19歳以下を除いた全ての年代で男性の割合が高くなっています。また、女性は、19歳以下が54.5%と最も高く、次いで、70歳以上、60歳代の順となっています。

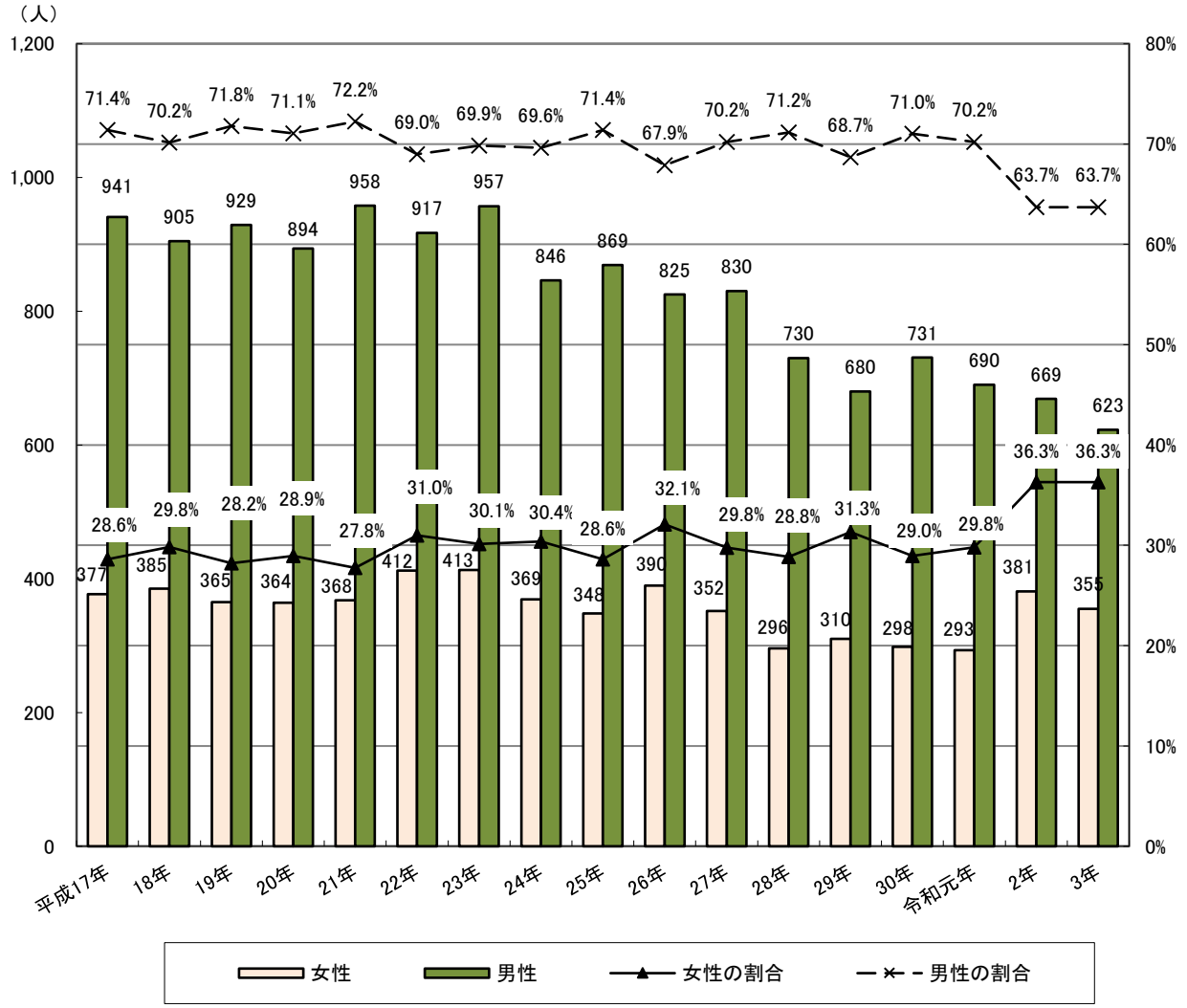
図表107　男女別・年齢別自殺者数（千葉県）



資料出典：厚生労働省「人口動態統計」（令和3年）

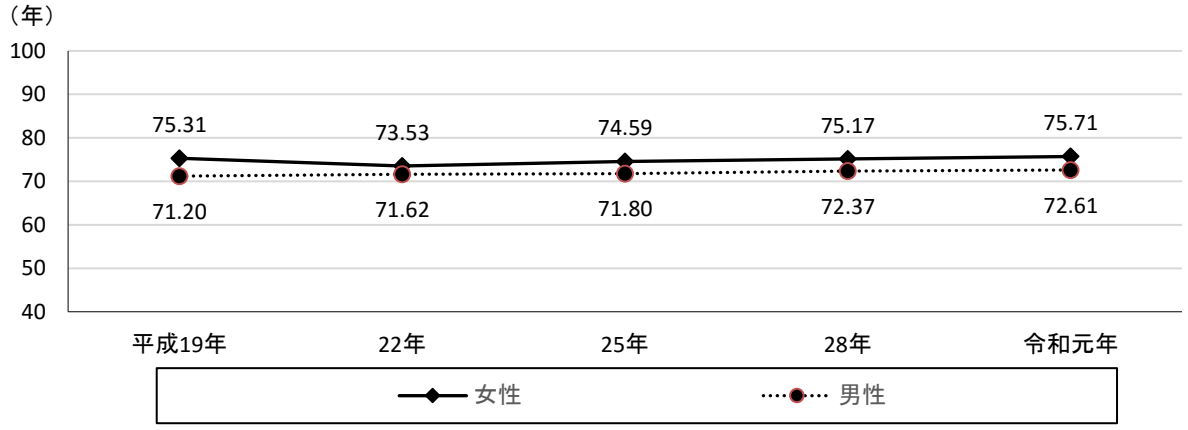
自殺者総数に占める男女別の割合について推移を見ると、男性は63.7%、女性は36.3%と男女ともに前年と同数でした。

図表108　自殺者数の推移（千葉県）



資料出典：厚生労働省「人口動態統計」（令和3年）

図表109　男女別健康寿命の推移（千葉県）



資料出典：厚生労働省公表